

令和5年度座談会「町長と語ろうまちづくり」(共和地区)

開催日時	令和5年10月30日(月)午後7時00分から午後8時50分
場所	共和トレーニングセンター
町民参加者	22人
町出席者	町長、教育長、参事兼企画総務課長、参事兼都市整備課長、地域防災課長、環境課長、農林課長、新東名対策室長、事務局2人

出席者からの主な意見や提案

《テーマ：特に定めない》

○交通について、共和地区でも共和福祉バスを運行しているが利用者が買い物や診療所に行く際はバスが停まる所まできていただいており、大変な思いをされている。共和地区以外でも買い物に行きたくても行けない、行けたとしても荷物があり坂を登れないという声を聞いている。清水、三保地区ではデマンドタクシーの試行運転を実施したが、交通の充実についてどのように今後取り組んでいくのかをお聞きしたい。

○共和地区の人口は、以前は750人であったが現在は200人不足となっている。その中で80人の演者を必要とするお峰入りの開催は非常に大変である。お峰入りの公演の1か月前に秦野の女性の方がお峰入りのポスターをみて、ぜひ参加したいという話があった。お峰入りの演者は男性のみであり、女性は参加することはできないが、その話を聞いて他にも参加したいという方がいるのではないかと思う。次回のお峰入りの開催は5年後になるが、今後演者の確保が大変になると思う。今後は、広く演者の募集を行い登録してもらうことも必要ではないかと考えている。また、お峰入りは最後神明社での演技となるが、大野山から神明社まで山道しかないので普通車が通れるような道路を整備してもらいたい。大野山で山火事が直近で2回も発生していることも踏まえ、火災対策としてもぜひ整備してもらいたい。

○深沢地区に住んでいるが道が狭く、見通しが悪いということで、介護サービスの車が来るのが嫌だということ聞いたことがある。最近は大野山に行く車や工事用のトラックが多くなっており、町道を整備して欲しいと思っている。また、自転車やバイクが走っていてヒヤッとすることが多くある。自治会要望で道路拡幅について要望していることから中長期で計画を策定し取り組んでいただきたい。

○清水地区にスマートインターチェンジができるとのことだが、清水橋付近の渋滞がひどく、いつも混雑している。新たに道路を作る計画はあるのか。鍛冶屋敷地区に最近工場ができたが、自治会でも工場の実態を把握できていない。町で把握しているものがあれば、情報提供をお願いしたい。

○スマートインターチェンジ完成後には、たくさんの方が山北町を訪れるとのことだが、令和9年度の完成に向けて、道の駅の駐車台数が少ない問題、トンネルの落書き、尾崎駐車場のトイレ、洒水の滝の看板や登山道の道標といった観光振興のための整備についても検討しているのか。

○地元で消防団をやっているが、近年大野山での火災が増えている。大野山は観光名所となっておりたくさんの方が訪れているが、山頂に消防水利がないので火災があると水を下から上げなければならない現状がある。このことから、防火水槽を整備して欲しいが難しいと思うので、せめて貯水タンクを整備していただきたい。

○ヤマビル被害は畑など山北町全体に広がっており、自身もヤマビルの被害にあっている。相模原市などでは様々な取り組みを行っていると聞いているが、山北町でも第6次総合計画に位置付けをし、農地を守るためにもヤマビル対策だけでなく鳥獣被害に対してもしっかりと対策をお願いしたい。